

10月14日は「鉄道の日」です。1872(明治5)年の同日に、我が国最初の鉄道が新橋～横浜間で開通したことを受け、その誕生と発展を記念し、1994(平成6)年に定められました。例年であれば全国各地でさまざまな記念行事が行われますが、今年では新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、残念ながら中止となる行事が多いようです。来年は1872年から150周年となります。盛大に記念行事が開催されるのではないかと思います。

本号では、地球温暖化問題解決のため、世界的に脱炭素社会

に向けた動きが広がっているなか、「脱炭素社会に貢献する鉄道のエネルギー技術」について特集しました。鉄道はほかの交通機関と比較してエネルギー効率が優れるといわれていますが、今後150周年、200周年とさらに優れた交通機関として鉄道が発展していくため、これからも脱炭素社会に貢献するさまざまな新技術の研究を進めていきます。

来月号の特集は「鉄道沿線の騒音・振動対策技術」です。鉄道の沿線環境にスポットを当て、評価技術や低減技術について鉄道総研の取り組みを紹介します。どうぞご期待ください。(M.T.)